

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.151

2018. 5. 2

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

5月3日は
憲法記念日

平和を・憲法を！守ろう！若者たちの声

この間の集会や学習会での若い世代の感想を集めました。「私たちが平和を憲法を守りいかさねば」という若者の声をご紹介します。

<4/5宮古・4/11滝沢・4/12水沢「いわて生協憲法学習会」

(講師：上山信一弁護士) より>

◇災害支援などのいいイメージをもつ自衛隊を9条に加えるだけならいいと思っていたが、集団的自衛権や戦争することを容認する意味だとわかり、大変なことだとわかった。9条を守りいかす署名に積極的に参加していきたい。

◇憲法について学んだのは中学生以来だったが、9条を変えることがいかに危険かわかった。今の日本は本当に危険なところまできている。学ぶことは大切。目が覚めました。

◇テレビ・ラジオ・新聞のイメージで大勢の人がだまされるのが残念。憲法改正は自身の生活や将来に関わる重要な問題だとわかり、署名の大切さを再認識。

◇署名活動を通して対話する機会を作り、私たちの声を届けていくことが大事。多くの署名を集めたい。

◇国家権力が暴走する形で行われようとしている改憲によって暴走が合憲化されたら、取り返しのつかないことになる。なんとしても改憲は阻止したい。

<3/4東北・東京の大学生20名参加「釜石艦砲射撃を学ぶツアー」より>

◇釜石で艦砲射撃があったことを初めて知った。こういった出来事をどう伝えていくか、私たち世代がしっかり考えないといけない。

◇説明いただいた佐野健司さんは「さまざまな民族と友だちになり互いに理解することが大事」、前日お会いした岩手県被団協名誉会長斉藤政一さんは「互助・慈しみの心が大切」と話していた。言葉は違っても思いは同じ。武力ではなく対話が大切だと思った。

◇身近な人を突然失うことを考えると身がすくみ悲しくなった。今の政治家はどこまで現場を考え、そこで巻き込まれる人のことを思っているのか聞いてみたい。再び戦前に戻らないよう考える機会を広めたい。

コラム 平昌オリンピック・パラリンピックは「平和の祭典」で終わる！—北朝鮮、「東京五輪参加」を表明—

3月末、平和の祭典平昌冬季オリンピック・パラリンピック終了後、国際オリンピック委員会バッハ会長が北朝鮮の招待により北朝鮮を訪問、朝鮮労働党金委員長と会談。その際、同委員長は‘20年東京夏季五輪、’22年北京冬季五輪に参加の意向を表明したとのこと。また、同会長も北朝鮮選手団を支援し続ける意向を表明したとのことである。

これは平和の祭典であるオリンピックの素晴らしいところではないか。分断国家がそれを乗り越えてオリンピックに参加、それを平和の祭典としたことは言語に絶することだと思う。それが朝鮮半島における南北対話、米朝対話にまで進み、更に中朝首脳会談、そして場合によっては朝口首脳会談にも進もうかとの流れになり、6カ国協議再開も見え隠れする状況。朝鮮半島、北東アジアに平和構築の機運が高まっている。

私たち九条の会はその活動の中で、この平和の機運を盛り上げて行く必要があると思う。その諸会談が実り多きものとなるよう、活動の中でシュプレヒコールしよう。

この平昌冬季オリンピック・パラリンピックやバッハ氏の北朝鮮訪問を五輪の政治利用、根強い批判などとの批判に対しては批判的に対応し、オリンピックが平和の祭典であり続けるよう、日本の国内に宣伝しよう。(T)



すすめよう！3000万署名

《現在 11万6,000筆》

署名集約日は5月末です署名は事務局（県生協連）にお送りいただくか、署名数をお知らせ下さい

◇大学・高校前や花見会場での宣伝、9条の会がない地域で署名チラシ配布



— 9条の会盛岡地域連絡会 —

署名やチラシ配布を4/7盛岡三高と盛岡誠桜高の入学式の日在校門付近で（参加23人、署名100筆・チラシ200枚配布）、4/13岩手大学構内で新入生対象に（参加20人、署名94筆・チラシ300枚配布）、4/21盛岡市高松の池で花見客を狙って（参加16人、署名77筆・チラシ200枚配布）実施。また、お願い文書と署名チラシ、返信用封筒セットを4/22盛岡市上堂周辺に約1,000部、4/29長橋町・中堤周辺に約1,500部配布。翌日から署名が郵送されてきました。

◇各地域や団体で、署名や街宣行動実施

<平和憲法9条をまもる岩手の会>毎月の9の日行動のほかに、4/19盛岡市肴町で署名行動（参加10人、50筆）実施。また同日夕方には、「5・3憲法集会 in いわて」に若者の参加を促がそうと、下校途中の学生中心にクロステラス前でチラシ400枚を配布しました。

<いわて労連>青年部が盛岡市大通の商店街を中心に、ポスター掲示や署名のお願いを実施。「安倍はダメだ。退陣してほしい」という声も多く聞かれ、早速、翌日からポスターを掲示してくれたお店もありました。また、街頭署名をやろう！とミニ学習を行い盛岡市内で実施。初めて街宣に参加した青年は、「こんなに書いてくれるとは思わなかった」と好反応。逆に周りが元気を貰ったりと、今後の活動に繋げて行きたい。

<釜石9条の会>5/3憲法集会を開催。署名行動のほか、毎週木曜日昼の駅前スタンディングや、19日ウォーキングデモも継続中。

<盛南地域連絡会>9のつく日を中心に、ユニバースやサンフレッシュ都南で署名行動実施中。この間の呼びかけや安倍政権への不信感もあって、自分から署名しにきてくれたり、学生も署名してくれています。にいわて労連作成のCDを流しながら地域に宣伝カーも走らせています。

3000万署名推進と沖縄問題を含めた平和について考えあいました

— 3/31 3000万署名推進盛南地域連絡会「9条・沖縄、平和を考える集い」 —

昼・夜に開催、計221名が参加。仙北9条の会中村不二子さんの静岡での戦争体験談では、乏しい食事情や激しい空襲、戦況はもちろん大被害が出た東南海地震でさえ一切報道がなく、本当のことが伝えられないまま戦争に突き進んでいったようすを紹介。「戦争は許されない。原爆犠牲者や沖縄の人たちの思いも忘れずに体験談を語っていききたい」と話しました。また、医療生協湯沢支部吉田さんの絵本「ケンボウケン」読み聞かせや、同津志田西支部の鈴木さんから署名のとりくみが報告されました。

そして、戦後の米軍占領下で平和な日本への復帰を願い、弾圧に屈することなく活動し続けている沖縄の人たちを描いたドキュメンタリー「OKINAWA1965」を鑑賞。北上市出身都鳥拓也（制作・撮影）・伸也（監督）兄弟による舞台挨拶も行われ、映画に込めた思いなどが話されました。参加者からは「開会閉会あいさつも含めすべて内容がよく、心が揺さぶられた」「一人ひとりが平和の大切さに気づく力になってほしいと思うような映画だった」などの感想が出され、今後のとりくみの糧となった集いでした。

5月の署名活動 9日（水）12:30～13:00「盛岡市大通野村證券前」

『3000万署名』締め括りの月です。大きく宣伝したいと思いますので、是非ご参加ください。